

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎改修等事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	高橋 秀之			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら、工事を進めていく。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら、工事を進めていく。
②①に基づく取組み結果	市庁舎空調設備改修工事が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	空調、非常用発電、トイレの改修により、庁舎の適正な管理を行う。
②事務事業の概要	市庁舎の空調設備、非常用発電設備の老朽化に伴い、改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。また、新型コロナウイルス感染症対策としてトイレを非接触型にするための改修工事を行う必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	空調設備改修工事を完了させ、非常用発電設備改修工事を発注した。トイレ改修については、工事発注のための設計図書を完成させた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	改修割合(累計)		3	55	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	10,113	224,162	金額(千円)	内容		163,501	
国支出金(千円)		26,223	15,578	調査設計費		24,455	
県支出金(千円)			208,584	工事費			
市債その他(千円)	7,900	172,700				136,400	
一般財源(千円)	2,213	25,239				2,646	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市庁舎の通常業務を行いながら、業務に支障無いように工事を進める必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	関係部署と調整を図った結果、工事が適正に着手できるか確認するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	空調設備及び非常用発電設備の改修工事を実施する。	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	空調設備改修工事を実施した。	405,224	408,949	当初	287,784	R1からの繰越	3,725
				R1⇒R2繰越	3,725		
③達成状況	未完了			補正	117,440	現年分	220,437
④未完了・非着手の理由	非常用発電設備改修工事が未完了のため。			流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				163,501	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	庁用車更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	高橋 秀之			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	使用年数や走行距離だけではなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定していく必要がある。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	使用年数や走行距離だけではなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定していく必要がある。
②①に基づく取組み結果	使用年数や走行距離だけではなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定し、4台の更新を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁用車	意図(対象をどうするのか)	老朽化した車両の入れ替えにより、効率的で安全な庁用車の管理を行う。
②事務事業の概要	庁用車の老朽化に伴い、使用年数の長いものや修理の多い5台について更新するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	庁用車は日々の業務において重要な移動手段となっていることから、適正な管理を行い、安全に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	老朽化が進んだ車両について、更新を行った。 また、新型コロナウイルス感染症対策としてバス使用時に分乗するための庁用バスを1台購入した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	更新台数		5	4	台	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	5,384	20,385	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			5,209	庁用車購入費			
県支出金(千円)			14,962	庁用バス購入費			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	5,384	20,385					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	使用年数や走行距離等を勘案し、的確に更新車両を決定して行く必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	庁用車の更新基準に照らし合わせながら、更新車両が適正か確認するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	庁用車を5台更新する。	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	予算の範囲内で庁用車を4台更新できた。	22,938	22,938,000	当初	6,339,000	20,385	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	20,385
③達成状況	完了			補正	16,599,000			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)			0	